園芸作物栽培に関しての
これからの対策とQ&A

梅雨時期は病害の激発に注意！

高温多湿のため、カビ菌の増殖しやすい環境になります。病気になる前に予防防除につとめましょう。農薬は、薬液が葉の裏にもかかる様にたっぷりと散布してください。一般的な病害と農薬はP9の上の表を参考にしてください。

○圃場の整備

梅雨に入る前に排水の手直しをしましょう。折角掘った溝が排水溝に繋がっていますか？今一度確認をしましょう。排水不良等で根が傷むと萎れが発生する事がありますが、肥料を与えれば元気になると勘違いをして大量に肥料を与えると逆に枯れてしまう場合があります。まずは排水を図り様子をみましょう。

○雑草対策

梅雨時期は雑草がよく伸びます。大きくなった草の除草は大変ですので早めの対策を行ってください。手による対策ですと柄の長い三角ホー等を使うと楽な姿勢で作業ができます。除草剤の使用ですと基本的に100倍で使用します。1a当たり原液で約50cc（希釈液5ℓ）は散布しましょう。除草剤用の展着剤を使用すると効果的です。

○追肥

6～7月は作物の生育が旺盛になるとともに、果実の肥大期になります。降雨によって肥料成分が流亡してしまいますので、そさい3号等の即効性の肥料を与えてください。量は1株当たり、指3本でつまむ程度です。

○整枝

茎や葉が繁茂していると、防除の薬剤が行き届かなかったり、蒸れることにより病害虫が発生しやすくなります。また、整枝しないと根への負担も大きいので、萎れやすくなります。整枝・剪定を行い、通風彩光を図りましょう。

○ナメクジ

梅雨時期はナメクジの発生が目立ちます。葉を舐める様に食べまわりますが、これを避けるには環境整備が大切です。これと併せて、「スラゴ」等の誘引剤を使用します。この薬は効果は高いですが、水に濡れると効果がなくなってしまうので注意が必要です。散布のタイミングとしては、風のない夕方に散布しましょう。散布後2日以内に雨が降りそうな時は散布を見送ってください。

○主な野菜の管理

ウリ科野菜はツルが早くに混み合うので、早めにツルを間引くようにしてください。実がなり始めたら追肥を開始してください。

トマト、キュウリは芽掻きが遅れないように気を付けましょう。作業は晴天の午前中に行ってください。また、風で倒されないように支柱をしっかり固定しましょう。

ナスは水が不足すると果実の変形や空洞果が発生しますので、注意が必要です。

キュウリやナス、ピーマンの葉が内側に巻くことがありますが、これは水不足や肥料不足、根痛みやダニの寄生で発生します。いずれにしても葉が成長するために必要な養分が充分に供給されていない状態になっています。良く観察して原因を見つけてください。

○秋野菜の準備

秋野菜のうち、キャベツやブロッコリーは品種によって7月中旬から播種が始まります。この時期は高温乾燥の時期ですのでセルトレイ等の土量の少ないポットでの育苗は非常に困難です。最低でも径が9㎝以上のものを使用しましょう。直射日光は避け、寒冷紗等でやや遮光をして温度が上がらないようにしてください。管理する場所は雨が当たらない所で管理してください。

お問合せ先
東部ふれあいセンター内
営農生活課　担当：高橋
TEL.0778-51-8004

バックナンバーはJAたんなんホームページ
http://ja.tannan.com/広報誌をご覧ください。

	ナス		キュウリ		トマト		全般
	褐色腐敗病	うどん粉病	べと病	うどん粉病	葉かび病	疫病	灰色かび病
ダコニール1000		●	●	●	●	●	●
トップジンM水和剤				●	●		●
ジマンダイセン水和剤			●		●	●	
アミスター20フロアブル		●	●	●	●		●
カスミンボルドー			●	●	●	●	
ランマンフロアブル	●		●			●	

農薬を使用する際は必ずラベルで登録内容を確認してください。

ブロッコリーを栽培しませんか？

平成29年8月に野菜集出荷施設を整備しました。県外出荷も視野に製氷機も整備し、発砲スチロール出荷箱による氷詰め出荷が可能で、今後もブロッコリーの産地化を目指し生産拡大を図ってまいります。

～ブロッコリー栽培のメリット～

●栽　培
- ・初心者でも栽培が容易。
- ・重量が軽く取り扱いが容易。
- ・大麦跡での栽培が可能。
- ・秋どりの定植や収穫といった作業は水稲の作業と重ならないため、大規模栽培が可能。

《去年初めて栽培されたF農家さんの実績》

栽培面積	出荷数量	売上	反収（10a当たり）
30a	5,230個	510,000円	170,000円

●出荷作業

これまでは生産物を1個ずつ調製・選果・規格別コンテナ詰め・出荷と、生産者にとって出荷作業が一番負担となっていました。しかし、現在は小調整・無選果コンテナ詰め・出荷と、大幅に出荷作業の省力化を図っております。

●下支え（補助金）

大麦跡にブロッコリーを作付すると、初年度で333,000円/10a、2年目は283,000円/10aの収入が見込めます。(※平成30年補助金は未確定)

《大麦跡ブロッコリー作付に対する、補助金等収入の参考事例》

大麦	補助金額（10a当たり）
水田活用直接支払交付金	35,000円
畑作物直接支払交付金（面積払）	20,000円
畑作物直接支払交付金（数量払）	10,000円
合計	65,000円

＋

ブロッコリー	補助金額（10a当たり）	
産地交付金	初年度	98,000円
	2年目	48,000円
売上		170,000円
合計	初年度	268,000円
	2年目	218,000円

●サポート（機械利用）

JAでは出荷助成金以外にも、関係機関と協力し、現地指導や機械レンタル等のサポートをして生産拡大を図っております。

～目標～
- ・福井県一のブロッコリー産地。
- ・補助金を当てにしない、更なる農家所得の向上。

ブロッコリーを作付しましょう!苦労も多いですが挑戦する農家をJAたんなんは全力で応援します!